



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム  
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 仁田 英策

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

TEL 06-6882-0851

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	14,568	18.4	1,364	50.3	1,322	49.8	744	60.4
25年12月期第2四半期	12,301	11.4	907	4.0	883	9.7	463	31.8

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 736百万円 (47.2%) 25年12月期第2四半期 500百万円 (44.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	76.38	68.19
25年12月期第2四半期	49.44	42.68

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	17,410	5,388	30.8	549.87
25年12月期	15,820	4,876	30.6	498.42

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 5,366百万円 25年12月期 4,853百万円

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。なお、平成26年12月期(予想)の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,700	14.4	2,850	33.8	2,800	34.5	1,400	32.5	143.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、平成26年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	9,759,600 株	25年12月期	9,737,800 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	— 株	25年12月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	9,742,020 株	25年12月期2Q	9,383,600 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき200株の割合をもって分割する株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要と建設投資の回復などを受けて、製造業・非製造業ともに改善しており、消費税率引き上げ後の反動の一時的な落ち込みがあったものの、持ち直しつつあります。

海外においては、米国は寒波の影響で1月～3月期の実質GDPがマイナス成長になったもののその後の経済指標は持ち直しております。また、ユーロ圏経済は緩やかな景気回復を維持し、中国経済には停滞感がみられるものの景気刺激策の効果もあって足元の経済指標はやや持ち直してきており、海外経済は緩やかに回復しております。

外食産業におきましては、消費マインドの改善の一方で、消費増税に伴う可処分所得の実質的な目減り、原価や人件費の上昇もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、当第2四半期連結累計期間におきましても既存店事業の全体的な底上げ、および販促活動の強化に注力いたしました。「まいどおおきに食堂」を中心として「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かっぱうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」をはじめとする全ブランドの増収増益に向けて全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高145億68百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益13億64百万円（前年同期比50.3%増）、経常利益13億22百万円（前年同期比49.8%増）と増収増益となりました。一方、特別損失46百万円を計上したため、四半期純利益は7億44百万円（前年同期比60.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### <直営事業>

直営事業につきましては、国内および海外において、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かっぱうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」等の事業展開を行っております。

当事業におきましては、「まいどおおきに食堂」を中心に全ブランドの既存店業績の維持・向上のための営業努力の結果、既存店売上前年比を37か月連続で100%超で達成することができ、上場している外食企業として国内最長記録の更新を継続しております。

また、7月に株式会社ファミリーマートと提携したコンビニエンスストアと外食店舗の双方の機能を兼ね備えた、一体型店舗1号店として「ファミリーマート+まいどおおきに食堂東池袋4丁目店」を出店いたしました。

今後も事業規模の拡大に加え、上記のコンビニエンスストアとの一体型店舗のような新しい試みを行いながら、業績向上に努めてまいります。

以上の結果、直営事業の売上高は137億75百万円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益は17億80百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

#### <FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例の共有を進めることにより店舗の収益力強化に努めております。中でも「まいどおおきに食堂」につきましては、直営店と同様に改装を漸次進めることにより更なる集客力向上を図っております。

今後も加盟企業様との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業の売上高は7億93百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は5億25百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

当社グループの平成26年6月末時点の店舗数は698店舗（直営店（国内）359店舗、直営店（海外）6店舗、F C店（国内）332店舗、F C店（海外）1店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 （国内）	直営店 （海外）	F C店 （国内）	F C店 （海外）	合計
まいどおおきに食堂	132	4	301	—	437
神楽食堂 串家物語	69	—	12	—	81
手作り居酒屋 かっぱうぎ	38	—	14	—	52
浪花麺乃庄 つるまる	50	—	4	1	55
その他	70	2	1	—	73
合計	359	6	332	1	698

## （2）財政状態に関する説明

### ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は15億89百万円増加し、174億10百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から4億41百万円増加し、固定資産は11億55百万円増加しております。流動資産が増加した主な理由は、主に借入の実行による現金及び預金の増加7億23百万円、預け金の減少2億55百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は新規出店に伴う有形固定資産の増加9億48百万円、敷金及び保証金の増加2億28百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して10億77百万円増加、120億21百万円となりました。これは主に借入の実行による借入金の増加額16億20百万円、未払法人税等の減少1億2百万円、社債の償還による減少額2億60百万円及び買掛金の減少68百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して5億11百万円増加し、53億88百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上7億44百万円に対し、配当金の支払いによる支出が2億43百万円あったことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが15億2百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローが17億4百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが9億35百万円の増加となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して7億23百万円増加し、31億70百万円（前年同四半期連結会計期間末34億81百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは15億2百万円の増加（前年同四半期は9億91百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が12億80百万円になったことに加え、非現金支出である減価償却費が6億1百万円発生したことに対して、法人税等の支払額による支出が6億27百万円あったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは17億4百万円の減少（前年同四半期は14億46百万円の減少）となりました。主な要因は、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が14億23百万円、敷金及び保証金の差入による支出が4億3百万円発生したことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは9億35百万円の増加（前年同四半期は64百万円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金の返済、社債の償還、割賦債務及びリース債務の返済による支出が12億65百万円、配当金の支払いによる支出が2億43百万円発生したことに対して、借入の実行による収入が24億27百万円あったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期の業績予測につきましては、平成26年6月23日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,825,378	3,549,127
売掛金	266,880	226,898
たな卸資産	130,481	132,629
繰延税金資産	105,775	105,775
預け金	826,523	570,630
為替予約	10,290	1,660
その他	367,168	386,686
貸倒引当金	△2,121	△1,614
流動資産合計	4,530,377	4,971,792
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	8,493,265	9,234,842
減価償却累計額	△3,587,168	△3,836,266
減損損失累計額	△321,509	△251,306
建物及び構築物(純額)	4,584,587	5,147,269
工具、器具及び備品	3,167,317	3,549,127
減価償却累計額	△2,208,256	△2,386,565
減損損失累計額	△41,377	△33,466
工具、器具及び備品(純額)	917,683	1,129,095
土地	359,490	359,490
建設仮勘定	717,356	914,609
その他	267,200	260,613
減価償却累計額	△174,288	△190,374
その他(純額)	92,912	70,238
有形固定資産合計	6,672,029	7,620,703
無形固定資産	76,969	67,590
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	214,907	222,456
繰延税金資産	338,218	335,530
敷金及び保証金	3,412,683	3,641,460
その他	628,783	587,196
貸倒引当金	△82,055	△57,824
投資その他の資産合計	4,512,537	4,728,819
固定資産合計	11,261,536	12,417,114
繰延資産	28,434	21,192
資産合計	15,820,348	17,410,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,083,457	1,015,135
1年内返済予定の長期借入金	1,179,711	1,534,069
未払金	1,011,681	1,098,942
未払法人税等	663,946	561,009
賞与引当金	73,298	67,537
繰延税金負債	3,907	630
資産除去債務	19,566	9,068
訴訟損失引当金	10,000	-
その他	1,401,141	1,218,794
流動負債合計	5,446,709	5,505,186
固定負債		
社債	1,759,999	1,499,999
長期借入金	2,593,297	3,859,149
リース債務	68,142	50,848
繰延税金負債	7,902	8,634
資産除去債務	671,667	727,372
その他	396,368	370,653
固定負債合計	5,497,378	6,516,657
負債合計	10,944,088	12,021,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,457,895	1,467,936
資本剰余金	1,337,641	1,347,682
利益剰余金	2,071,589	2,572,218
自己株式	-	△91
株主資本合計	4,867,126	5,387,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,471	△30,609
繰延ヘッジ損益	6,382	1,030
為替換算調整勘定	15,509	8,347
その他の包括利益累計額合計	△13,578	△21,231
新株予約権	13,750	13,056
少数株主持分	8,962	8,684
純資産合計	4,876,260	5,388,255
負債純資産合計	15,820,348	17,410,098



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,301,792	14,568,294
売上原価	4,096,673	4,800,181
売上総利益	8,205,118	9,768,113
販売費及び一般管理費	7,297,601	8,404,019
営業利益	907,516	1,364,094
営業外収益		
受取利息	2,342	2,069
受取家賃	58,341	52,858
持分法による投資利益	10,892	—
その他	17,821	27,345
営業外収益合計	89,397	82,273
営業外費用		
支払利息	28,262	28,812
社債利息	13,039	8,056
賃貸収入原価	59,007	57,554
持分法による投資損失	—	286
その他	13,495	29,110
営業外費用合計	113,804	123,820
経常利益	883,110	1,322,547
特別利益		
受取立退料	—	2,875
受取保険金	—	1,492
負ののれん発生益	7,538	—
その他	2,824	215
特別利益合計	10,363	4,583
特別損失		
店舗解約損	36,638	4,582
固定資産除却損	15,452	12,583
減損損失	23,777	28,999
その他	402	—
特別損失合計	76,270	46,165
税金等調整前四半期純利益	817,203	1,280,964
法人税等	352,283	536,711
少数株主損益調整前四半期純利益	464,919	744,253
少数株主利益	1,022	178
四半期純利益	463,896	744,074

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464,919	744,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,265	4,861
繰延ヘッジ損益	—	△5,352
為替換算調整勘定	28,754	△7,365
持分法適用会社に対する持分相当額	△851	△253
その他の包括利益合計	35,168	△8,109
四半期包括利益	500,087	736,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498,541	736,421
少数株主に係る四半期包括利益	1,546	△278

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	817,203	1,280,964
減価償却費	470,456	601,523
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,689	△1,774
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,898	△5,761
受取利息及び受取配当金	△2,370	△2,085
支払利息	28,262	28,812
社債利息	13,039	8,056
社債発行費償却	10,658	7,242
持分法による投資損益 (△は益)	△10,892	286
店舗解約損	36,638	4,582
固定資産売却損益 (△は益)	△1,689	—
固定資産除却損	15,452	12,583
減損損失	23,777	28,999
負ののれん発生益	△7,538	—
売上債権の増減額 (△は増加)	38,057	39,980
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,431	△2,201
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68,500	△23,513
預け金の増減額 (△は増加)	△41,209	255,893
未収入金の増減額 (△は増加)	3,698	24,911
立替金の増減額 (△は増加)	2,217	△34,122
未払金の増減額 (△は減少)	13,222	△6,666
前受金の増減額 (△は減少)	△143	1,844
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,162	59,067
その他	56,230	△113,084
小計	1,383,045	2,165,539
利息及び配当金の受取額	2,370	2,085
利息の支払額	△40,197	△37,590
法人税等の支払額	△353,796	△627,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	991,421	1,502,180

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90,691	△220,701
定期預金の払戻による収入	90,680	220,692
有形固定資産の取得による支出	△1,197,730	△1,423,154
無形固定資産の取得による支出	△42,019	△21,637
固定資産の除却による支出	△9,731	△33,275
貸付けによる支出	△3,369	△9,756
貸付金の回収による収入	7,611	4,587
有形固定資産の売却による収入	5,588	—
投資有価証券の売却による収入	6,055	—
関係会社株式の取得による支出	△1,608	—
長期前払費用の取得による支出	△1,946	—
敷金及び保証金の差入による支出	△269,610	△403,161
敷金及び保証金の回収による収入	62,729	175,203
その他	△2,045	6,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,446,087	△1,704,807
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,500,000	2,427,000
長期借入金の返済による支出	△771,295	△806,790
社債の償還による支出	△370,000	△370,000
株式の発行による収入	—	17,705
割賦債務の返済による支出	△78,029	△54,548
リース債務の返済による支出	△32,919	△34,319
自己株式の取得による支出	—	△91
配当金の支払額	△183,176	△243,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,579	935,761
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,410	△9,395
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△369,676	723,739
現金及び現金同等物の期首残高	3,851,480	2,446,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,481,804	3,170,423

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,558,508	743,283	12,301,792	—	12,301,792
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	11,558,508	743,283	12,301,792	—	12,301,792
セグメント利益	1,305,532	479,126	1,784,659	△877,142	907,516

(注) 1. セグメント利益の調整額△877,142千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23,777千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間における「直営事業」セグメントにおいて、連結子会社である上海藤尾餐飲管理有限公司の株式の追加取得をいたしました。当該事象により、当第2四半期連結累計期間において負ののれん発生益7,538千円を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	F C事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,775,029	793,265	14,568,294	-	14,568,294
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	13,775,029	793,265	14,568,294	-	14,568,294
セグメント利益	1,780,012	525,816	2,305,828	△941,734	1,364,094

(注) 1. セグメント利益の調整額△941,734千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間に営業活動から生ずる収益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては28,999千円であります。